現代の国語

科 学年	全科 １年生	単位数	２	教科書 教材	「新現代の国語」（三省堂）「常用漢字オールクリア五訂版」・「常用漢字オールクリア五訂版別冊徹底トレーニングノート」・「1日10分言語力ドリル聞く・話す　入門」

１．学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

２．学習の内容

学習内容	主な学習活動
〔知識及び技能〕 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項 〔思考力、判断力、表現力等〕 ・下記のＡ～Ｃの三領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 Ａ話すこと・聞くこと Ｂ書くこと Ｃ読むこと ○現代の社会生活に必要とされる論理的な文章や実用的な文章を教材として、〔知識及び技能〕と〔思考力、判断力、表現力等〕の二つの内容を学びます。論理的な文章とは、説明文、論説文や解説文、評論文、意見文や批評文などのことです。また実用的な文章とは、実社会において具体的な何かの目的やねらいを達するために書かれた文章のことです。	・異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて自分の考えと比較し、自分の考えを明確にする。 ・様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。また、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 ・事例を比較して述べる方法や事実に基づく主張の仕方を理解する。また論理的な文章の読み方を理解する。 ・根拠を明確にし、表現の仕方や聞き手を意識して、自分の考えを伝えるための工夫をする。 ・違いを乗り越えて合意を形成していくために必要なことを考える。 ・共通するテーマについて書かれた複数の文章から考えたことを、具体的な事例を用いて文章に書く。

３．担当者からのメッセージ

これからの社会は、予測困難でより複雑化することが予測されています。そういう社会において言語能力が果たす役割にいっそう大きな期待が寄せられるようになりました。このような社会状況の中で、論理的思考力、相互に交流する力、情報の適切な判断力などといった言語能力を身に付けることは、よりよい社会、幸福な人生を創る助けになると考えられています。

言語文化

科学年	全科 １年生	単位数	2	教科書・教材	「新言語文化」（三省堂）「常用漢字オールクリア五訂版」・「常用漢字オールクリア五訂版別冊徹底トレーニングノート」

１．学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

２．学習の内容

学習内容	主な学習活動
〔知識及び技能〕 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項 〔思考力、判断力、表現力等〕 ・下記のＡ・Ｂの二領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 Ａ書くこと Ｂ読むこと ○古典（古文と漢文）、近代（明治時代）以降の文章を教材として、〔知識及び技能〕と〔思考力、判断力、表現力等〕の二つの内容を学びます。近代以降の文章では、小説、詩歌、随筆、インタビューなど多様なジャンルの文章を用いた学習となる予定です。	・筆者独自のものの見方、さまざまな物事と故事との関わりや物語の解釈の多様さを考える。 ・物語の人物設定、全体構成、心情表現や転換点に着目して物語を読み深める。 ・本文の大意を捉え、和歌に込められた心情を読み取る。 ・比喩や暗示を用いた表現を使用した意図を考える。また、人物の心情表現や言語表現を分析し、人物像を批評する。 ・日本の言語文化は外国の大きな影響を受けてきたことを知り、現代の言語文化の交流、言語文化を継承する意義について考える。

３．担当者からのメッセージ

「言語文化」は、中学校までの国語の学習と密接に関連し、その内容を発展させ、総合的な言語能力の育成する科目として位置づけられています。単元教材に応じて、「書くこと」【伝統文化の担い手たる意識の涵養】を随時取り入れ学習を進めます。「書くこと」（創作や作文などを含む）の学習や古典（古文と漢文）の学習に対しても根気よく取り組む姿勢を忘れずにいてください。

論理国語

科 学年	全科 ２年生	単位数	2	教科書 教材	「新　論理国語」（三省堂）「常用漢字オールクリア五訂版」・「常用漢字オールクリア五訂版別冊徹底トレーニングノート」「1日10分言語力ドリル書く」

１．学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

２．学習の内容

学習内容	主な学習活動
〔知識及び技能〕 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項 〔思考力、判断力、表現力等〕 ・下記のＡ～Ｃの三領域において、論理的に考える力や批判的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 Ａ話すこと・聞くこと Ｂ書くこと Ｃ読むこと ○「現代の国語」を発展させたものとなります。論理的な文章や実用的な文章を教材として、〔知識及び技能〕と〔思考力、判断力、表現登〕の二つの内容を学びます。	・文章を丁寧に読み、内容を的確に捉えて、要旨をまとめる。 ・文章を読んで考えたことについて話し合う。 ・伝えたいことを明確にして、目的や意図に応じた適切な情報を収集する。 ・筆者が事例をどのような順序であげているのかを整理し、その事例の役割と効果を吟味する。 ・同じ事柄について異なる論点を持つ複数の文章を読み比べ、新たな視点から自分の考えを深めていく。 ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。

３．担当者からのメッセージ

情報過多な時代に情報に流されることがないようにするには、情報を論理的かつ批判的に検討する力が求められます。「現代の国語」に続き、文章の読み方、物事の考え方、話し合いの仕方の基本を学び、さらに学習を発展させていきます。混沌とした社会を聡明に生き抜く力が養われます。

論理国語

科 学年	全科 ３年生	単位数	2	教科書 教材	「新　論理国語」（三省堂）「改訂版必携国語総合セミナー」「１日１０分言語力ドリル聞く・話す」

１．学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

２．学習の内容

学習内容	主な学習活動
〔知識及び技能〕 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項 〔思考力、判断力、表現力等〕 ・下記のＡ～Ｃの三領域において、論理的に考える力や批判的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 Ａ話すこと・聞くこと Ｂ書くこと Ｃ読むこと ○２年生での学習を発展させたものとなります。論理的な文章や実用的な文章を教材として、〔知識及び技能〕と〔思考力、判断力、表現登〕の二つの内容をより深く学びます。また高校生として必要な国語常識の習得を目指します。	・文章を丁寧に読み、内容を的確に捉えて、要旨をまとめる。 ・文章を読んで考えたことについて話し合う。 ・伝えたいことを明確にして、目的や意図に応じた適切な情報を収集する。 ・筆者が事例をどのような順序であげているのかを整理し、その事例の役割と効果を吟味する。 ・同じ事柄について異なる論点を持つ複数の文章を読み比べ、新たな視点から自分の考えを深めていく。 ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。

３．担当者からのメッセージ

２年生で学んだ文章の読み方、物事の考え方、話し合いの仕方をさらに深く学びます。情報過多な時代に情報に流されることがないようにするには、情報を論理的かつ批判的に検討する力が求められます。混沌とした社会を聡明に生き抜く力が養われます。